



# くくむ



金武町子ども議会特別号

2021  
令和3年度  
号外



令和3年度 金武町子ども議会 一般質問一覧表

質問順	質問者	質問事項	ページ
1	山田 瑠依	○金武町の水問題について	3～4
2	伊藝 羽乃	○金武町の情報教育について	4
3	仲間 寛奈	○金武町の公共施設について	5
4	伊芸 麻衣	○中川にあるホテルの中の設備は何があるかについて	6
5	久高 輝琉	○金武町の米軍基地について	6～7
6	仲間 蓮	○金武町の国道の渋滞について	7～8
7	伊芸 優吾	○金武町のビーチのゴミについて	8～9
8	伊藝 結麻	○SDGsについて	9～10
9	東 楓彩	○スクールバスの運行について	10～11
10	安木 心南	○金武町内の学校の学力について	11～13
11	吉田 生陽	○不登校の児童・生徒への学びの保障をどのように図っていくのか	13～14
12	仲間 孝介	○金武町のLINEでコロナの感染状況をもっと詳しく掲載してほしい	15
13	比嘉 謙仁	○町内にもっとごみ箱を増やせないでしょうか	16
14	田場 結音	○子どもの貧困について町としてどのように実態把握をして対策を行いますか	16～18
15	屋宜 吏衣菜	○町のWi-Fi環境についてどのように改善していくか伺いたいです	18～19
16	仲間 球児朗	○金武ファンをつくる取り組みとは具体的にどんな取り組みをしていくのですか	19～20

## 山田 瑠依 議員



【答弁】 上下水道課長 伊芸誠  
山田瑠依議員の一般質問にお答えいたします。

金武町の水道水の水質調査に係る有機フッ素化合物の水問題について、まとめてお答えいたします。

水道では、皆様に安全で安心な水を供給するため、51項目の水質基準が水道法で定められています。この水質基準を満たした水道水を供給しているかを確認するため、水質検査を定期的に実施しています。

また、水道水の安全性を一層高めるため、水源から蛇口まで24時間365日といったきめ細かな水質管理を実施しております。水質基準を超過するおそれのある場合は、原因を特定するとともに、浄水場などの運転管理方法の変更や水道施設の改善などで対応しています。

金武町の水道供給システムは、町管理のダム水、河川水、地下水と沖縄県企業局管理のダム水からなり、割合としては、これまで町の水源から取水している35%、県企業局から

受水している65%で構成されています。

生活に欠かせない水道水の供給については、水質管理目標設定項目に設定されましたPFOS・PFOAの水質検査が必要となったことから、厚生労働省の認可を受けた専門検査機関である財団法人沖縄県環境科学センターへ委託し、全ての取水源及び水道水の検査を行い、金武地区と並里地区の地下水からPFOS・PFOAが検出されました。

高い含有量が確認された地下水源については、取水を即時停止し、県企業局の水を現在は70%程度まで増量することで、水道水に含まれるPFOS・PFOAの数値を下げ、水質の改善に取り組んでいます。

地下水からPFOS・PFOAを含む水が採取されていたことにつきましては、その発生原因が特定できないものの検出数値の分布状況や、日本においてはPFOS・PFOAの製造・輸入、こういったものが禁じられていることから、キャンプ・ハンセンの排水事情及び付近の地下水源への影響による可能性が高いと考えっております。

金武町は、沖縄県と連携して基地

内において専門家による立入調査を実施できるように、内閣総理大臣、内閣府沖縄担当大臣、外務大臣、防衛大臣、駐日アメリカ大使に対して要請してきたところでございます。

PFOS・PFOAの公表につきましては、県内でも本島中南部に水道水を供給している沖縄県企業局管理の北谷浄水場、そこでもPFOS・PFOAが検出されていまして、その際、発生源特定のため2年間のモニタリング調査が沖縄県企業局で行われた結果、水質検査の公表に至っております。

金武町においても、こういった同様のモニタリング調査が必要であると判断し、現在9か所ある地下水の取水地点の正確な水質の把握やその発生源の特定を行った上で公表する予定でございます。

この問題につきましましては、以前から金武町議会でも審議され、適切に対処してまいりましたが、マスコミ報道が先行したため、皆様に誤解や不信感を与えているところもあると考えております。

今後、水質の定期的なモニタリング調査と並行して、地下水源に依存しない水道事業の実現に向けた水道

【一般質問】  
金武町の水問題について質問します。

生活に欠かすことのできない水は、安全に利用できなければならぬと思います。しかし、水道水の水質調査で、目標値以上の有機フッ素化合物が含まれる水が取水されていることがわかりました。

なぜ人体に影響を及ぼす水が取水されていたのですか。

また、分かった時点で公表しないのは何か意味があったのですか。



管や配水池の新規整備の計画に基づき、県企業局管理の石川浄水場から多くの水道水が受水できるよう、金武・並里・中川地区においては100%企業局用水で供給できるよう、本年度から送水管の設計に着手

## 伊藝羽乃の議員



し、次年度工事を進めていくことで、令和5年度からは金武・並里地区の水道水を県企業局用水で全量供給できるよう取り組んでまいります。

【一般質問】  
これで私の一般質問を終わります。

型コロナウイルス感染症が拡大したため、令和2年度にまとめて通信回線、Wi-Fi、1人1台の端末の整備を進めました。

今年度は、1学期から夏休みにかけて、通信回線や端末状態を確認しておりますが、8月から9月にかけて新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し、夏休みが終了した後も休校や分散登校をすることになりました。

町内の各学校においては、休校や分散登校及び不安感があつて登校を控えている児童・生徒の学びを保障するため、学校と家庭をつなぐリモート授業、家庭にいる児童・生徒と登校している児童・生徒の両方を対象に行うハイブリット授業を実施することとしました。

十分な準備期間をもつて実施したものではありませんため、9月の休校や分散登校の間の取組は試行期間として、各クラスにおいてできるところから実施し、その成果や課題を後日検証することとしました。

急な導入になりましたが、児童・生徒や先生方においては、よく頑張っていたのだと思っております。その取組については、学校や学年で異

なっており、様々な成果や課題も確認できました。

伊藝羽乃議員が質問されている制限の緩和とアプリケーションの導入についても、今後の課題であると認識しております。

通信規制の緩和については、いつでもクラウドと通信ができ、調べ学習等の範囲も広がるといった利点があるものの、ネット依存やネットを介したトラブルに巻き込まれるといった問題もあります。教育用パソコンにおける規制と緩和のバランスが大切であると考えております。

教育用アプリケーションについては、各メーカーが多くのアプリケーションを開発しており、教育に効果的なアプリケーションを選定する必要があります。

金武町教育委員会には、教育委員会の職員と各学校でGIGAスクールを担当する先生で組織する学力向上マネジメント情報部会がありますので、その中で十分に検討して、通信の規制や新たなアプリケーションの導入に取り組みたいと考えております。

【一般質問】  
これで私の一般質問を終わります。

## 仲間寛奈議員



【一般質問】  
金武町の公共施設について質問します。

私は金武小学校に通っていて、何十年もたっていると聞いていますが、改築の予定はありますか。

【答弁】学校教育課長 與那城樹  
仲間寛奈議員の一般質問にお答えします。

金武小学校の改築についてお答えします。

現在の金武小学校校舎について説明する前に、まずは旧金武小学校校舎について説明します。

旧校舎は、大正14年に沖縄県内で初めて鉄筋コンクリートで建てられた校舎でした。建築は、当時学校に通っている児童や地域の方々が石を集めたり割ったりして、コンクリートに混ぜる材料を準備するなど、建設工事に深く関わっています。また、海外に移民された金武町出身の方々からたくさんのお金が寄附されています。旧校舎は当時の金武村民の誇りと言える校舎でした。

しかしながら、長い年月で老朽化し、文部科学省の基準にも合わなくなってきたことから、子どもたちの学習環境を考えて、金武小学校100周年記念事業期成会などが町へ改築を要請をいたしました。

一方、金武小学校の校舎は、沖縄県内の建物の中でも歴史的価値などがあるとして、建築家や町民などから建て直さず保存してほしいという声もありました。

金武小学校の改築は、町内だけではなく県内及び海外移住者の間でも論争となりました。

最終的には、金武町議会で取り壊

すことを決定しましたが、新しく建設する校舎は旧校舎のデザインを取り入れるなど、保存を希望する方々の意見も生かされております。

現金武小学校の校舎は、このようにたくさんの方々の思いが形になった校舎です。

現在の金武小学校の校舎は、昭和57年に工事が完了し、建設から39年が経過しております。

コンクリートの建物は、耐用年数が50年となっていますが、補修などを行うと大切に使うと、さらに長く使えると言われております。

金武町では、現在建てられている公共施設については、できるだけ長く使えるように取り組んでおり、金武小学校校舎についても、近い将来建て替える計画はありません。

しかしながら、学校教育や社会情勢は時代とともに変化していきまます。新しく建て直すことは行わず、常にも古くなったり壊れたところは、トイレを和式から洋式に変えるなど、時代に合わせた改修も行います。さらに、英語教育、GIGAスクール、特別支援教育などに対応する教室や設備にも配慮した、安心・安全





# 伊 芸 麻 衣 議 員



といい、平成29年度に町が温泉宿泊ホテルを建てたい会社を募集の上選考し、東京都の会社が建設しております。

オープン予定は、令和4年の1月となっております。121室の客室に最大320名宿泊することができ、金武町にとって待望の温泉宿泊ホテルであります。

ホテルの設備といたしましては、1階にフロント、カフェ、ショップ、食事会場としても利用可能なミーティングルームがあります。

2階には、サウナ、温水マッサージなどを設備したお風呂及び約80席のレストランがあります。3階から6階は、2名と4名タイプの客室となっております。

このホテルは、温泉入浴だけの利用も可能となっております。町民が安く入浴できるような割引制度も予定しております。

金武町を代表とするホテルとして、町内外からたくさんのお客様が宿泊していただけるよう、町としてもできる限り協力していきたいと考えております。

中川にあるホテルの中の設備は何かについて質問します。

金武町中川区にある大きなホテルがありますが、あの中にはどんな設備があるか知りたいです。

【答弁】 商工観光課長 知念 久  
伊芸麻衣議員の一般質問にお答えします。

1の中川にあるホテルの中の設備は何かについてお答えします。

現在、中川地区に建設中のホテルは、名前をASBO STAY HOTEL（アスポ・ステイ・ホテル）

あり、主に海兵隊員として約6,000名から8,000名が在籍するほか、基地従業員として米国人従業員約250名、日本人従業員約600名が働いております。

また、各米軍施設内では、米軍による一般演習や実弾砲撃演習、ヘリによる飛行訓練の実施、また陸上自衛隊と米軍による合同訓練などが実施されております。

米軍に提供している軍用地の返還については、日本国とアメリカ合衆国の間において協議が行われ、最終的に日米合同委員会の中で承認され、返還が実現するものであります。

返還された後のまちづくりは、地権者と行政機関など地域全体で考え、いくことが重要であり、返還の見込みがあれば跡地利用計画を策定する必要があります。

その計画を検討する中で、道路や水道整備などのインフラ整備や公園、学校などの公共施設整備、大型ショッピングセンターやリゾート施設の企業誘致など、様々な分野について話し合いながら、跡地利用によるまちづくりの構想ができていきたいと思います。

町では、平成23年から平成25年に

えております。

## 【一般質問】

ASBO STAY HOTEL（アスポ・ステイ・ホテル）の名前の由来は何か知りたいです。

【答弁】 商工観光課長 知念 久  
ホテルを建設運営する会社に聞き

# 久 高 輝 琉 議 員



ましたところ、明日への希望という意味が含まれるというふうに向っております。

## 【一般質問】

これで私の一般質問を終わります。

ピングモールセンターや新たなまちを築いたらどうですか。

すると、観光客が金武町に来ることが多くなると思います。どう考えますか。

## 【答弁】 企画課長 伊 藝 勲

久高輝琉議員の一般質問にお答えいたします。

金武町の米軍基地につきましてお答えいたします。

現在、金武町には、キャンプ・ハセン、金武レッド・ビーチ訓練場、金武ブルー・ビーチ訓練場の3つの米軍施設があり、その施設面積は町士の55.7%となっております。

キャンプ・ハセンには海兵隊員が生活するための隊舎や、訓練に必要な備品を管理するための倉庫、その他食堂、歯科クリニックなどが

## 【一般質問】

金武町の米軍基地について質問します。

金武町は県外からも観光客が訪れます。しかし、金武町は2分の1が米軍基地と聞きました。なので、少し基地を削って、何らかの大型ショッ

発が続いており、KINサンライズビーチを沖縄県が整備し、その後ろ側に海浜公園を金武町が整備している最中で、来年の春から夏にかけて完成する見込みとなっております。

さらに、金武町多目的屋内運動場も来年の12月頃に完成する見込みとなっております。スポーツ分野がより活性化することが期待されます。

また、企業誘致による温泉宿泊施設ASBO STAY HOTEL

# 仲 間 蓮 議 員



うるまちから金武町に行くとき、朝、渋滞をしていると聞いています。が、解消する方法はありますか。

## 【答弁】 企画課長 伊 藝 勲

仲間 蓮議員の一般質問にお答えします。

渋滞解消についてお答えいたします。

国道329号は、北部国道事務所によって道路の建設と管理を行っています。

金武町の国道329号は、朝の通勤、登校時は屋嘉から金武に向けて通る車と、沖縄自動車道金武インターチェンジ出口方面から来る車が合流

## 【一般質問】

金武町の国道の渋滞について質問します。



することにより、速度が遅くなり渋滞が発生している状況であります。また、夕方の退勤、下校時には、金武から屋嘉に向けても渋滞が発生している状況であります。

町では、渋滞が緩和されるよう様々な要望を行ってきており、米軍再編に伴う問題については、内閣官房長官をはじめ安全・安心な道づくりを求める全国大会や、沖縄振興拡大会議の中で、市町村要望などを行っております。

1つ目に、米軍関係車両への解消方法として、現在、沖縄自動車道金武インターチェンジの出入口付近から、直接キャンプ・ハンセンにアクセスする道路整備が進められており、沖縄防衛局から令和4年度中の完成を予定しているとのこと。

2つ目に、国道329号つるま市以北の屋嘉から金武渡慶頭交差点付近までの4車線化を国へお願いしております。

3つ目に、県内外からイベント関連でネイチャーみらい館や、金武町ベースボールスタジアム及び金武町フットボールセンターなどへ来訪する観光客や利用者への利便性を高め、地域の活性化や観光振興に寄与

域の海浜清掃を行い、海岸の環境美化に努めております。

しかしながら、昨年度令和2年度と今年度令和3年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、実施を見送っております。

現在は緊急事態宣言も解除されており、次年度以降は、今までどおりに一齐清掃が実施できると考えております。

そのほか、町の事業としては、町民一齐の海浜清掃とは別に、県の補助金を活用し、毎年、各地域の海岸において、ペットボトルなどの漂着物についても回収等の清掃を行っております。

また、自主的に海岸清掃を行うボランティアの方々に対してごみ袋の提供を行うなど、海岸保全に取り組んでおります。

今後、引き続き、地域の方々など連携しながら、きれいな海岸を維持してまいります。

### 【一般質問】

ごみを拾っても、ポイ捨てする人はいません。このポイ捨てに関して何か呼びかけや対策はしているのですか。

することを目的に、県道104号沿いに沖縄自動車道スマートインターチェンジ出入口の整備を西日本高速道路株式会社へお願いしております。

国道329号の朝夕に生じる道路交通渋滞の状況に鑑み、当該地域における渋滞緩和・解消を図るために、関係者が協力し、総合的な改善の推進を図る目的で、内閣府沖縄総合事務局、北部国道事務所、沖縄防衛局、沖縄県警察本部、西日本高速道路株式会社及び金武町で構成する金武地区渋滞対策検討委員会が設立されており、これまでに4回の話し合いが行われてきており、短期的な対策を行ってきております。

渋滞の短期対策として、金武インターチェンジ出入口付近へのポストコーン設置及び屋嘉区12班のエマールタウン入口へ、右折するための車線の設置、うるま市向け金武バイパス合流地点にポストコーンを設置しております。

今後、金武地区と屋嘉地区に分けて進めていくことになっており、金武地区については、国道329号から米軍キャンプ・ハンセンへのアクセス道路の整備に伴い、交通量の変化が予想されることから、金武イン

### 【答弁】 住民生活課長 儀間 権

ごみ関係については、この後も、またほかの議員がポイ捨て問題とかについて質問してくるところもございますけれども、ポイ捨てしないような意識をしっかりと皆さんに持っていただくために、看板設置などをして、まずは人が変わっていかないとなかなかポイ捨ては減っていきません。だろつなということを思っていますので、しっかりと皆さんに問いかけるような物事をつくって、ごみのない金武町がつくり上げられていくことを願って、いろんな事業を実施していきたいと考えております。

### 【一般質問】

ビーチの軽石について質問します。今、小笠原諸島の噴火で軽石が全国に流れ着いています。金武町にはまだ流れ着いていませんが、もし流れ着いたとしたら、何か対策はしているのですか。

### 【答弁】 住民生活課長 儀間 権

連日、報道でこの軽石問題、流れておりますが、金武町には流れていないということで議員おっしゃいましたが、ここ最近、やはり金武町にも少量ながら着いてきております。

沖縄県の中では、41市町村ある中

ターチェンジ交差点において、高速道路金武インターチェンジ料金所向けにスムーズに車が流れるよう、屋嘉方面からの左折車線と金武方面からの右折車線の2か所を延伸します。

また、同交差点には信号機の設定も予定しており、安全・安心な道路空間の確保を行うものであります。

今後、屋嘉地区につきましては、ファミリーマート金武屋嘉店の近く

## 伊 芸 優 吾 議員

からうるま市近くまでの3車線化の暫定的な対策として計画しております。

町としては、引き続き、国道329号の朝夕の渋滞解消並びに4車線化の実現に向けて、一生懸命取り組んでまいります。

### 【一般質問】

これで私の一般質問を終わります。

ごみ拾いをしましたが、たくさんごみが落ちていました。このごみ問題を金武町はどう考えますか。何かこの問題を解決する動きをしているのでしょうか。

### 【答弁】 住民生活課長 儀間 権

伊芸優吾議員の一般質問にお答えします。

金武町の海岸のごみについてお答えします。

金武町には、各地域に沖縄県が管理している海岸がありますが、環境に対する理解を深め、広く身近な環境保全のボランティア活動を図ることを目的に、毎年7月頃、全町民一齐に各区それぞれ割り当てられた地

### 【一般質問】

金武町のビーチのごみ問題について質問します。

以前、金武町のあるビーチに行っ



で33市町村の海岸には軽石が漂着しているというところがございます。

金武町の軽石が漂着しているものに関しては、今現在、沖縄県がその処理の方法ともしっかり対策会議の

## 伊 藝 結 麻 議員

### 【答弁】 企画課長 伊藝 勲

伊藝結麻議員の一般質問にお答えいたします。

SDGsについてお答えいたします。

SDGs 持続可能な開発目標とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された持続可能な開発のための2030アジェンダに記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人取り残さないことを誓っています。

SDGs は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。



## 東 楓 彩 議員



今後取りまとめていくというものでございます。  
そして、市町村から意見、パブリックコメントによる県民意見、そういったのを有識者を交えて意見を1つに集約して、実施方針を決定するという中身になっております。  
そのほかに、またSDGsおきな

わアクションプランというのがございまして、これについては、具体的にどれくらいの数字とか、そういったのを具体的に決めていくものでございます。

【一般質問】  
これで私の一般質問を終わります。

が、金武町ではそうした計画があるのでしょうか。

【答弁】学校教育課長 與那城樹  
東 楓彩議員の一般質問にお答えします。

スクールバスの運行についてお答えします。  
現在、嘉芸小学校に通っている伊芸地区の児童と金武中学校に通学している中川地区、嘉芸地区の生徒は、路線バスを利用して登校しております。

免許保持者の拡大と自家用車の普及、少子化の進展などにより、県内の路線バスの運営は厳しい状況となっております。

特に本島北部地域では、路線バスの乗車人数が減少し、廃線となった

正答者の割合のピークが2つ出ており、下位層の底上げが必要となっております。

算数については、満点をとる児童が多くいますが、正答率の少ない児童も多く、平均に当たる児童が少ないという結果が出ています。

中学校においては、国語は全国や沖縄県と比較して約2問ほど解けておりません。数学については下位層が多い結果が出ています。  
小学校・中学校ともに、国語では読むこと、算数・数学では図形を苦手としております。

全国学力学習状況調査では、学力調査のほかに学習習慣、生活習慣、自己有用感、規範意識等に関する質問紙調査も同時に行っております。  
質問紙調査では、小学生については、自分の良さに気づき、将来に希望を持ち、友達と協力して活動することを楽しく思っているという回答が多く出ています。  
中学生については、困っている人を助け、人の役に立ちたいと考え、自分の考えを伝えることができるという回答が多く出ています。

小学生、中学生ともに「地域や社会を良くするために何をすべきかを

た「おきなわSDGsアクションプラン」が策定される予定となっております。現在、県民からの意見を求めるアンケートを実施中で、町においても、県民アンケートへの御協力を周知するため、広報金武やホームページ、SNSなどで呼びかけを行っております。  
金武町独自のSDGsに特化したイベントは今のところ実施しておりませんが、沖縄県や近隣市町村の動向に注視しながら検討してまいります。

【一般質問】  
沖縄県SDGs実施指針を2021年9月に策定したとありましたが、沖縄県SDGs実施指針とは、具体的にどのようなことでしょうか。

【答弁】企画課長 伊藝勲  
沖縄県のSDGs実施指針でございますが、まず、大きく分けて3つございます。

1つ目に、沖縄県が県民と目指すSDGsの推進指針の県の取組方針を包括する形で取りまとめるものがございます。

SDGsに関する万国津梁会議とか、そういった多様な意見を集約し、と、乗客数が減少して沖縄バスが廃線となる可能性があり、スクールバスの導入を行っておりません。  
一方、町では、今年度から高齢者などの買い物支援として、各区のマイクロバスを活用したコミュニティバスの試験運行を行っております。このコミュニティバスの運営状況を検証し、路線バスが廃線とならない範囲で、小学生の登校支援の可能性について検討していきたいと考えております。

【一般質問】  
これで私の一般質問を終わります。

【一般質問】  
金武町内の学校の学力について質問します。

金武町内の学校は、沖縄県の平均に比べて学力が低いようですが、それについて今、どのような対策をされていますか。また、これからのような対策をしていく予定ですか。

【答弁】学校教育課長 與那城樹  
安木心南議員の一般質問にお答えします。

金武町立学校の学力の対策につい



## 安木心南 議員

ところもあります。金武町から宜野座村を経由して名護市までの路線についても経営状況が厳しく、以前、沖縄バスと琉球バスの2社が運行していましたが、現在は琉球バスが撤退して、沖縄バス1社のみの運行となっております。依然として厳しい運営状況が続いております。

路線バスは、車の運転ができない小学生、中学生、高校生、高齢者、障害者などの移動手段となっており、町では路線バスの運行を守りたいと考えております。

仮に町がスクールバスを導入する



考えることがあります」という質問に、全国や県を超える肯定的な回答が多くあります。

一方、睡眠時間、スマホの使い方、家庭学習の計画については否定的な回答が多く、課題となっております。

金武町教育委員会では、毎月、教育長と各学校の校長が出席する校長連絡協議会において、これらの内容を報告して、各学校において詳細な分析を行って学力の向上に取り組むこととしました。

また、教育委員会においても同様な報告を行い、教育委員会広報紙「くくむ」の12月号で分析結果を町民へ公開することとしました。

学校の先生、教育委員会の職員、PTAで組織する金武町学力向上推進委員会においても、内容を共有して児童・生徒の学力向上を図っております。

金武町教育委員会においては、これまで、児童・生徒の学力を向上させるため、様々な施策を行っております。

幼児には、読書の習慣が身につくよう、赤ちゃんとその保護者を対象に、絵本を紹介するブックスタートや読み聞かせなどを町立図書館で

行っております。

また、町内でもこのこども園や幼稚園に入園しても、小学校入学までに一定の水準の幼児教育が受けられるよう、各園の保育教諭を対象とした学びの基礎力育成支援事業を行っております。

小中学校では、沖縄県よりも早く、町内の小中学校に1クラス35人以下の少人数学級を導入しています。

国や県の制度では、児童数の少ない中川小学校は5年生と6年生が複式学級となりますが、金武町では、先生を1人採用して複式学級を解消し、5年生1クラス、6年生1クラスとしています。

困り感のある児童・生徒への対応としては、各学校に特別支援教育支援員を配置しております。また、生徒一人一人の特性に合わせた教育環境を整えるため、作業療法士による巡回指導を行い、教室内の雰囲気、机、椅子の高さや角度などを改善して、集中して授業を受けられる対策を行っております。

また、算数など特定の教科を苦手としている児童・生徒に対しては、別の教室で指導を受けられる通級教室を設置し、どこの町立学校の通級

教室に通っても質の高い教育が受けられるよう、通級指導コーディネーターを配置しています。

小学校における英語教育は、小学校3年から始まりですが、金武町では、文部科学省から英語課程特別校の指定を受けて、小学校1年から英語教育に取り組んでおり、高学年も授業時数を増やしております。

ICT教育では、県内でもいち早く町内全ての学校の教室に電子黒板を導入しました。また、令和2年度に町内各学校に高速通信回線、WiFi、1人1台の教育用パソコンを整備しております。

各種検定試験においては、積極的にチャレンジできるよう受検料の半額を補助しております。

高校受験を控えた中学校3年生に対しては、受験生無料塾を開講して、学力の向上を図っております。

質問紙調査では否定的な回答が多かった睡眠時間、スマホの使い方、家庭学習の計画については、各学校に講師を派遣して、児童・生徒や保護者を対象としたスマホの使い方などについての講演会を開催しています。また、教育委員会広報紙「くくむ」

に記事を掲載して、各家庭へ協力を

依頼しております。

このような様々な対策を行っておりますが、児童・生徒の学力が向上するには、何よりも児童・生徒が学習の大切さを自覚して、毎時間集中して授業を受講し、毎日計画的に家庭学習を含めた学校外での学習に取り組むことが大切です。

町内の児童・生徒の皆さんには、各クラスにおいて、積極的に授業に取り組む雰囲気をつくり、家庭学習が一日の生活リズムの中で大切な時間となるよう取り組んでいただきたいと思います。

### 【一般質問】

私たちが安心して学べるような支援はありがたいのですが、成績下位の児童・生徒に合わせた対策が多いように感じます。成績上位者に対しても適切な支援があったほうがいいと私は考えます。

上位者もより高いレベルの学習に挑戦することで、さらに学力が向上すると思っております。全体としての学力向上を図るべきではないでしょうか。

### 【答弁】学校教育課長 與那城樹

安木議員の質問、とてもすばらしい質問だと思います。今後、教育委

員会のほうに持ち帰って、成績上位者に対しての対策も検討させていただきたいと思えます。

以上で答弁を終わります。

### 【一般質問】

コロナ自粛で授業が遅れているにもかかわらず、休みなどが町外の学校と比べて多いように感じました。遅れている分は家庭学習や授業の1時間で二、三時間分の学習をすることもあります。それだと下位の児童・生徒がさらに追いつけなくなると思

## 吉田 生陽 議員



の振興について伺います。

子どもたちの確かな学力を身につけさせるために、家庭、学校、地域、行政が連携した教育関係づくりを目指すと考えています。

コロナ禍において、学校では不登校の児童・生徒が増加傾向にあります。不登校の児童・生徒への学びの保障の充実のために、行政がこれからのように取り組んでいくのか伺いたいです。

### 【答弁】学校教育課長 與那城樹

吉田生陽議員の一般質問にお答えします。

不登校児童・生徒への学びの保障についてお答えします。

文部科学省による不登校の定義は、「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により登校しない、あるいはしたくともできない状況にあるため年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの」となっております。

金武町教育委員会と各町立学校では、年間10日以上休んだ児童・生徒を把握し、情報を共有して早期に対応することとしております。

近年、全国的に不登校の児童・生徒が増加して問題となっており、沖縄県においても同様な傾向が見られます。金武町立学校における児童・生徒の不登校は、小学校が2名、中学校が14名となっており、学年が上がるたびに不登校の数が増える傾向があります。

不登校の要因は、人間関係、遊び・非行、無気力、不安、その他の要因に分類することができます。

不登校の状態は、初期、混乱期、平穩期、トライ期、トライ持続期の段階に分けることができます。必ずしも順番どおりの段階に移行するも

ではありません。

金武町教育委員会では、学校の先生、教育委員会の職員、こども支援課の職員、保健福祉課の職員、区長、民生委員、石川警察署の警察官で組織する金武町不登校児童生徒支援ネットワーク会議を設置して、毎年10日以上休んでいる児童・生徒一人一人について、欠席日数、理由、要因と傾向、段階などの情報を共有して対応に当たっています。

不登校支援の目的としては、登校のみを目標とせず、あくまでも将来、社会的、職業的に自立することを目指しており、そのためには休養や自分を見つめ直す時期と捉えることも必要だと考えております。

しかしながら、吉田生陽議員御質問のとおり、授業の遅れや進路選択上の不利益、社会的自立へのリスクが存在することも忘れてはいけません。

不登校支援ネットワークでは、できるだけ早く不登校の要因を特定し、通常の学校生活を送れるよう、先生、スクールソーシャルワーカー、相談員等による本人、保護者との相談や家庭訪問及び民生委員や区長など地域の方々からの情報提供などを

### 【一般質問】

第5次金武町総合計画の義務教育



行っております。

また、教室に入ることができない児童・生徒については保健室登校、学校に行くことができない生徒については教育委員会の相談室登校を実施しており、学校に登校できなくても教育委員会の相談室に登校した場合は出席扱いとしております。

コロナ禍における休校や分散登校において、町立学校ではリモート授業などを実施しましたが、リモート授業は不登校となっている児童・生徒の教育にも効果があることがわかりました。

今後は、教育用パソコンを活用した不登校児童・生徒への学びの保障についても調査研究を重ねて、有効に活用していきたいと考えております。

**【一般質問】**

金武町不登校児童生徒支援ネットワーク会議はどのくらいの頻度で行われているのですか。

**【答弁】** 学校教育課長 與那城樹 全体会議としては年2回ほどですが、個別支援会議として、その都度、随時行われておりますので、児童・生徒によっては、1人の児童・生徒に対して年に五、六回行われる場合も

あります。

**【一般質問】** 金武町不登校児童生徒支援ネットワーク会議で情報共有をした後、不登校児童・生徒に対して、各課は具体的にどのような対応に当たっているのですか。

**【答弁】** 学校教育課長 與那城樹 不登校の生徒の原因、それを究明したり、今後の対策をしたりということで、中心になる教育委員会の職員がおりますので、この方を中心に、学校のソーシャルワーカーもしくはこども支援課の職員、保健福祉課の職員、その他児童相談所など、いろんな機関とも連携しながら、これもケースバイケースですので、どういうふうにということではないんですが、一人一人きめ細かい対策をできるように実施しているところでございます。

**【答弁】** 教育長 比嘉 貴一

少し私のほうからも御説明させていただきます。

先ほど課長のほうから、不登校支援ネットワーク会議には学校の先生、教育委員会の職員、こども支援課の職員、保健福祉課の職員、区長、民生委員、石川警察署の警察官など

で組織をするというふうに御説明を

しました。  
不登校の児童・生徒に対して、このメンバーでいろんな会議をして情報交換を行います。吉田議員が御質問のとおり、会議をした後どうするかということですが、まず、学校の先生が生徒といろんな悩みだとかそういう相談を受けます。その内容によって、学校の中だけではどうしても対応が厳しいというような状況がございます。また、なかなか学校に来ていただけないということもありますので、そのために教育委員会の職員が家庭訪問をしたりということをします。

その際に、どうも生徒本人よりも子どもたちよりも、家庭に問題があるのではないかとというようなときに、こども支援課や保健福祉課の職員と相談をします。

この場合、こども支援課や保健福祉課の職員は児童・生徒というよりもその保護者に対しての支援というような形も取っていきます。

そういう状況はいつ頃から続いているのかどうかということ、区長さんや民生委員の方々から情報を提供していただくという場合もあ

仲間孝介 議員



町の新型コロナウイルス感染者情報の提供方法についてお答えいたします。

本町では、新型コロナウイルス感染症の新規陽性者が県から報告された場合、感染対策や注意喚起を目的に、町民の陽性者数、推定解除者数、確認日を防災無線屋外スピーカー、金武町役場公式ホームページ、QA Bデータ放送でお知らせをしております。

また、毎週木曜日には、1週間における新規陽性者合計人数及び累計人数などの感染状況、ワクチン接種状況等と併せてチラシで全世帯へお知らせをしております。

一方、町では、行政情報やイベント情報を発信する手段として、LINE等のSNSを積極的に活用しております。現在、町のLINEでは、3,300名以上の方に登録をいただいております。

ただし、登録者には町民以外の様々な方もいらっしゃるから、感染者情報につきましても、情報伝達の意義と感染者への配慮等を総合的に

ります。

そのような場合、どうしても改善ができないという場合には、児童相談所に相談をしたり石川警察署に相談をするというようなことで対応を行っている状況でございます。

**【一般質問】**

これで私の一般質問を終わります。



のほうに情報が来ます。住所とかどの辺に住んでいるとかという情報は来ませんので、町としましては、今、町内でこれだけの感染者がいますよという注意喚起と感染対策を踏まえて情報発信しております。区ごとの統計というのはできない状況となっております。

**【一般質問】**

これで私の一般質問を終わります。



**【一般質問】**

金武町のコロナ感染の状況について質問します。

ほかの市町村のアプリでは、コロナの感染人数や年齢層などの情報がアプリで確認できる場所があります。金武町のLINEでも感染状況を確認できるように改善できないでしょうか。

**【答弁】** 総務課長 安富祖 勲

仲間孝介議員の一般質問にお答えします。

今後も、町が発信する情報につきましては、その内容を踏まえ、情報媒体の活用を図ってまいります。以上でございます。

**【一般質問】**

どのくらい感染者が出てくるかで発信することは可能ですか。

**【答弁】** 総務課長 安富祖 勲

沖縄県からは、議員も一定程度御存じかと思うんですけども、年代、性別、職業までは沖縄県から金武町





【一般質問】

町内にもっとごみ箱を増やせないでしょうか。

通学で道路を歩いたり、公共施設を利用したときなど、至るところにごみがたくさん捨てられているのを目にします。道路や公共施設にごみ箱を設置する必要があるのではないかと考えています。住みよいまちづくりの視点から、ポイ捨てを減らす取組が必要だと思いますが、町としてどのようにお考えですか。

【答弁】 住民生活課長 儀間 権

比嘉謙仁議員の一般質問について 日本における貧困は相対的貧困のことであり、先進国35か国中10位の状況にあります。2018年の厚生労働省国民生活基礎調査によると、相対的貧困世帯に属する17歳以下の子どもが13.5%で、7名に1人の割合となっています。

金武町における実態把握の方法につきましては、ひとり親世帯における貧困率の高いことから、ひとり親世帯に給付する児童扶養手当について、毎年実施する調査において面接を行っています。新たな子育て世帯に対しては、全世帯訪問を行い、面談による把握を行っています。また、地域の相談員である民生委員や各小中学校、町内の保育施設及び学童保育とも連携を図り、気になる世帯や子どもがある場合には報告を受け、訪問確認を行っています。

アンケート調査につきましては、平成29年9月8日にアンケートを配布し、回収時期を平成29年10月10日と定め、実施しました。アンケートの対象者は、小学校1

お答えします。

町内のごみ問題の取組についてお答えいたします。

町では、「安心して暮らせるまちづくり」の視点から、ごみ減量化を目的として、平成23年10月に燃えるごみ袋の有料化を行いました。また、雑誌や段ボールなどの古紙類を分別し出させていただくことで、再利用につなげることも取り組んでいます。

以前には、町の公園などの公共の場などにごみ箱が設置されていることもありました。分別がなされていないもの、家庭内や町外から持ち込んだごみを捨てていく人などが増えたこと、カラスや猫によるごみの散乱で不衛生だったこともあり、ごみ箱を撤去してきた経緯がございます。

しかしながら、現在においてもごみのポイ捨てがされているなどの状況がございます。そのため、普段からごみを捨てるにいい環境をつくっていくことも必要と考え、町では、地域の巡回パトロール、ごみ拾いや道路脇の草刈りなどを行うとともに、

年生の保護者、小学校5年生の生徒とその保護者、中学校2年生の生徒と保護者とし、配布総数は594件、回収件数は453件であり、回収率は76.3%となっています。

子どもの貧困率については、世帯の収入状況や家庭において税金などを差引いて実際に手元に残る所得、地域における生活保護世帯やひとり親世帯の発生率など様々な資料を基に算出します。

金武町を含め町村においては、子どもの貧困算出に関する全てのデータを扱っていないことから、正確な割合の算出ができず、比較も難しい状況にあります。しかし、町が扱えるデータの範囲においては、沖縄県における子どもの貧困率29.9%と同様の状況にあると推測されます。

子どもの貧困による課題については、生活格差、教育格差などに伴う低学力や低学歴が指摘されており、その延長に若者の貧困、子育て世帯の貧困が発生し、子どもの貧困につながる連鎖と考えられます。

そのため町は、子どもの貧困として原因に挙げられる生活格差や教育格差の解消を目指すほか、子どもを産み育てやすい町づくりとして町独

地域では各班清掃などの活動をしていただき、ポイ捨てしにくい環境づくりや啓発ポスターの掲示などの取組を進めているところでございます。

また、ポイ捨てを減らすためのPR強化として、看板の設置や広報紙での周知を行い、ポイ捨てを未然に防止する取組も行ってまいります。

このごみ問題は、行政の対策はも

田場結音 議員



【一般質問】

子どもの貧困について町としてどのように実態把握をし対策しているかについて質問します。

まず、町の全ての子育て世帯に対しては、不妊における検査や治療費及び不育症の場合の治療費の助成、出産児1人当たり10万円を給付する出産奨励金、ゼロ歳から18歳までの子どもに係る医療費の自己負担額を全額負担することも医療費助成、感染症を予防するための任意予防接種に係る費用助成、虫歯ゼロの児童・生徒を対象とした虫歯予防奨励金、

保育施設の利用における2人目の保育料の半額及び3人目以降の全額免除、幼児教育における給食費の一部助成及び5歳児の給食費全額補助、小学生・中学生を対象とした給食費の全額助成、各種検定試験など受検料の助成、教育の充実を図るため、小学校・中学校における35人学級制の実施、各区公民館における放課後子ども教室の実施、部活動などにおける県外大会などへの派遣費の助成、大学や専門学校で学ぶ学生の奨学金制度、小学校や中学校への通学に不安がある場合などに対する教育相談室の設置などを実施しています。

特に、子どもの貧困などに該当する世帯への追加支援では、保育施設

ちろんですが、町民皆さんや金武町を訪れる方の協力も不可欠です。町として、今後もポイ捨て禁止の周知啓発を通じて、一人一人のポイ捨て禁止に対する意識を高めていくとともに、各地域などと連携し、ポイ捨てされない環境のきれいなまちづくりに努めていきたいと考えています。

【一般質問】

これで私の一般質問を終わります。

今、日本では、子どもの貧困が問題になっています。実に7人に1人の割合で存在しているとのデータがあります。市町村によっては、実態把握のためにアンケートを実施している自治体もあります。金武町では子どもの貧困に対して、どのように実態把握し、対策を行っているのでしょうか。伺いたいです。

【答弁】 ごども支援課長 仲間 賢

田場結音議員の一般質問にお答えします。

町の子どもの貧困における実態把握と対策についてお答えします。

子どもの貧困には、食べ物が無い、住む家がないなどの最低限度の生存などの利用に関し1人目から保育料や給食費の全額免除、保育料及び給食費以外の保育・幼児教育に係る費用を助成する実費徴収に係る補足給付、小学校や中学校の入学に係る制服やかばんなど学用品の準備金や在学中に必要な経費を助成する就学援助費、学童利用に係る保育料免除、小学生から中学生を対象とした子ども食堂を兼ねる子どもの居場所づくり事業、小学校3年生から中学生を対象とした学習支援の無料学習塾、高校受験対策としての学習塾などを実施し、子どもたちの成長を支援しています。

また、保護者や若者の雇用についても、町内における企業誘致を進めるとともに、町直営の就活支援センターを設置し、就職案内のほか、就職に有利となる技術や資格取得などの各種無料講座を開設し、就職支援を行っています。

町では、今後も、子どもたちが育つ環境に左右されることなく、自身の夢に向かって進むことができるように、貧困の連鎖を断ち切るように、全ての子育て世帯に対しきめ細やかな支援を進めてまいります。

以上でございます。



**【一般質問】**  
今日の朝刊にも子どもの貧困について書かれていました。小学1年生、5年生、中学2年生だけの抽出調査だけでなく、全学年調査する必要がありますか。

## 屋宜 吏衣菜 議員



**【答弁】 学校教育課長 與那城樹**  
これは実施していきたいと思っておりますので、準備が整い次第、実施していきたいと思っております。

**【一般質問】**  
ありがとうございます。  
これで私の一般質問を終わります。

の授業も開始されています。ですが、ネットワークの問題でうまくつながらない場面や、途中で切れてしまったり、家にWi-Fiがない家庭の生徒が参加できないなど、様々な問題が起こっています。町として今後どのように改善を図っていくのか伺いたいです。

**【答弁】 学校教育課長 與那城樹**  
屋宜吏衣菜議員の一般質問にお答えします。

GIGAスクールを町内の各学校に導入するには、各学校までの高速通信回線の整備、各教室におけるWi-Fiの整備、児童・生徒、教職員1人1台の端末購入と設定が必要になります。

当初、金武町教育委員会では、令和2年度から令和4年度にかけて、

ながらなくて参加できない生徒への対策はありますか。

**【答弁】 学校教育課長 與那城樹**  
実際にこの貸出し用のルーターを整備するのは、早くても次年度になると思っておりますので、その間、家庭にWi-Fi環境のない生徒については、学校に出てきてもらって、学校の中でパソコンを使うということになるかと考えております。

**【一般質問】**  
もし検討期間にフロムブックを使わざるを得なくなった場合、家にWi-Fiがない家庭やうまくつながらなくて参加できない生徒たちは、リモートを受けることができません。そのため、学力の差が開いてしまいます。それらの不安から不登校になってしまふ可能性もないとは言いきれません。不登校の人が増加することについて学校教育課はどのようにお考えですか。

**【答弁】 学校教育課長 與那城樹**  
家庭でのリモート授業にこだわらず、学校での対面授業ができるような形で対策を進めていきたいというふうに考えていますので、その辺は心配ないようにやっていきたいと思っております。

3年間でGIGAスクールを整備する計画を進め、その間に教室内で端末を使った授業や家庭におけるリモート授業がスムーズに行われるよう、先生方への研修などを行う予定でした。

しかしながら、令和2年度から新型コロナウイルス感染症が拡大したため、令和2年度にまとめて通信回線、Wi-Fi、1人1台の端末の整備を進めました。

今年度は、1学期から夏休みにかけて、通信回線や端末状態を確認しておりますが、8月から9月にかけて新型コロナウイルスの新規感染者が増加し、夏休みが終了した後も休校や分散登校することになりました。

町内の各学校においては、休校や分散登校及び不安感があつて登校を控えている児童・生徒の学びを保障するため、学校と家庭をつなぐリモート授業、家庭にいる児童・生徒と登校している児童・生徒の両方を対象に行うハイブリット授業を実施することとしました。

十分な準備期間をもって実施したものではありませんため、9月の休校や分散登校の間の取組は試行期間とし

**【一般質問】**  
これで私の一般質問を終わります。

## 仲間 球児朗 議員



**【一般質問】**  
金武のファンをつくる取組とは具体的にどんな取組をしているのか質問したいです。

北部地区は今後、人口減少傾向にあるとデータで見たことがあります。金武町は、人口増加に向け金武のファンをつくる取組を進めると、第5次金武町総合計画で拝見しました。

具体的に金武町のファンをつくるために、どのような取組をしていく

て、各クラスにおいてできるところから実施し、その成果や課題を後日検証することとしました。

急な導入にはなりませんが、児童・生徒や先生方においては、よく頑張っていたのだと思っております。

その取組については、学校や学年で異なっており、様々な成果や課題も確認できました。

屋宜吏衣菜議員が質問しているリモート授業における通信環境についても、今後の課題であると認識しております。

GIGAスクールを導入した際、令和3年度に町内全ての学校で一斉にリモート授業を実施するということは想定していませんでした。新型コロナウイルス感染症の拡大により休校や分散登校となったため、自粛中の学びを保障するためにリモート授業を実施することとしました。

学校が児童・生徒に配布した教育用パソコンが家庭でスムーズに機能しなかった要因は、教育用パソコンの設定や操作に誤りがある場合、学校と家庭間の通信に問題がある場合、家庭にWi-Fiなどの通信環境が整備されていない場合などがあ

のかを伺いたいです。

**【答弁】 企画課長 伊藝 勲**  
仲間球児朗議員の一般質問にお答えします。

金武ファンをつくる取組についてお答えします。  
金武町では、令和3年3月に策定した第2期金武町まち・ひと・しごと創生総合戦略において、人口増加のため、金武町への人の流れを受け入れる環境をつくるための基本目標を達成するために、金武町ファンを増やすこととしております。

基本的な方向として、交流人口・関係人口の増加に向けた環境整備を推進するものと、定住人口の増加を目指した環境整備を推進するもの

位置づけております。  
交流人口・関係人口の増加に向けた具体的な事業として、1つ目に、観光施設や公共施設、文化財等のサイン・誘導板の整備など、観光振興に向けた基盤整備を行う金武町観光振興推進事業、2つ目に、町内のス



スポーツ施設や地域資源を生かし、プロ野球球団やJリーグのサッカーチームなどのキャンプ誘致を行うプロスポーツ受入れ事業、3つ目に、交流人口増加に向けた取組を推進するため、観光産業促進に資する人材を育成する観光ガイド育成支援事業、4つ目に、金武町独自の自然や異文化空間を生かしたイベントを実施することにより、人を呼び込み、地域の活性化を図る地域活性化イベント事業、5つ目に、ふるさと納税寄附者に対し、町の特産品を中心とした特典を提供することで、金武町内で生産される農産物や加工品などを全国にPRする金武町ふるさと応援寄附金事業などがあります。

次に、定住人口の増加を目指した具体的な事業として、1つ目に、公営住宅の整備により、子育て世代の定住人口の維持・拡充を図り、地域の活性化に寄与する町営住宅建替え事業、2つ目に、行き止まり道路などの解消、集落内雨水排水路の整備を図るとともに、住宅地整備を促進するための道路整備を実施する町道整備事業などがあります。

そのほかにも、町民が安心して結婚・出産・子育てを図るための不妊

治療などへの助成を行う不妊・不育治療費等助成事業、子育て世帯への各種支援を行い、負担軽減を図るための子育て激励金支給事業、こども医療費助成事業、放課後児童健全育成事業、学校給食の完全無料化を実施し、保護者への経済的支援を図るための学校給食無料化事業などがあります。

今後もし引き続き、人口増加に向けた各事業を推進し、金武町ファンの増加に向けて取り組んでまいります。

#### 【一般質問】

金武町は観光する場所やスポーツする場所など、支援などがいっぱいあっていいと思いますが、人口増加のためには住んでもらわないといけないと思います、観光する場所のPRなどは見たことがあります、支援などのPRなどは余り見たことがないので、どのようにPRをしているのか伺いたいです。

#### 【答弁】企画課長 伊藝 勲

金武町の町外に発信をするPRとしまして、まず、SNSとあとホームページ、そういったので金武町の発信をしています。

また、最近では、バイパスの浜田口の交差点のところにデジタルサイ

ネージ、それを設置して、大画面によりスクリーンでそこを通る車の方々に、町内ではどういったのがされているよというのをPRしています。

今後もしいろんな媒体を使って、金武町に人の流れができるような振興に向けて取り組んでいくものがございます。

#### 【答弁】商工観光課長 知念 久

定住人口を増やすに当たっては、やはり金武町の魅力を対外的に発信するというのは有効な手段だと考えております。

こういった金武町を訪れた方々がリピーターになっていただいで、そこからまた金武町に住んでいただく、そのような考え方もございます。

金武町の情報の発信につきましては、企画課長から申し上げたこと以外にも、町には観光大使という方が県内外にいらつしやいます。そういった方々に広く金武町を紹介していただいで、金武町の魅力をアピールしていただいでいるところでございます。

こういったものも含めまして、町の情報をどんどん発信して、町の魅力をいろんな方々にお伝えして、ど

んどん金武町に来て、ひいては定住に結びつくような取組をどんどん推進していきたいと考えております。

#### 【一般質問】

これで私の一般質問を終わります。



### 子ども議会に参加して

中川小学校 六年 山田 瑠依

私は子ども議会に参加する前に、金武町の水問題についてニュースで知りました。それで

なぜだろう、大丈夫かなと疑問に思うところがいくつかあったのを今でもおぼえています。私が質問したのは、目標値以上の有機フッ素化合物が含まれる

水が家庭に流れたのはなぜかという質問でした。答弁を聞いてみると納得することもありました。逆にもっと聞いてみたいということもありました。金武町で働いている方々がどんな思いで働いているのか、また、一つの問題を解決するために時間をかけて話し合っていることが分かりました。さらに、他の子ども議員の質問を聞いて、もっと金武町のことを知ることができました。



### 子ども議会に参加して

中川小学校 六年 伊藝 羽乃

十一月二十四日火曜日に子ども議会がありました。

学校の代表ということもあって、きんちょうしたのを覚えております。

議会の会場は、とても広くこんな場所でちゃんと質問ができるか不安になりました。

リハーサルでは、席や質問の流れを確認することができました。

当日、リハーサルのことを思い出しながら本番に臨みました。

現在コロナ禍であり、どの学校もリモート授業をしているということから、私は金武町の情報教育について「はい議長。」という返事と同時に質問したものに、ちゃんと答弁が返ってきて安心しました。ただ、もう一つの質問をしっかりと考えて言

えなかったことは後かいています。

こんな機会は、なかなかないので経験できたことは本当によかったなと思います。

中学校になっても、子ども議会はあるので、その時にもう一度金武町のことについて質問することへ挑戦したいと思います。

この経験を生かして、卒業までがんばっていききたいです。





## 初めての子ども議会に参加して

金武小学校 六年 仲間 寛奈

十一月二十四日に、金武町役場で、子ども議会が行われました。私は、金武小学校の代表として、議会に参加しました。また、副議長に当選しました。副議長は、議長が一般質問をする際に、代理で議長席に座って会議を進めます。リハーサルの会議で、副議長としても役割や一般質問をちゃんとこなすことができました。

そして、むかえた本番は、とてもドキドキしていました。私に通っている金武小学校の校舎は、教室の床にゴミがたまっていたり、ベランダの床が割れていたりと、環境に悪い状況です。だから、金武小学校の改築についてうかがいました。その質問に対して、学校教育課長は、「今の校舎は三十九年経っているけれど、補修などを行えば、長く使えるので、改築の予定は

ない。」とおっしゃっていました。しかし、トイレを和式から洋式に変えたり、GIGAスクールなどの設備は、取り組んでいくとも答えていました。次に、改築をするとしたら、費用はどのくらいかかるのか、うかがうと、「今建築しているギンバル屋内運動場が二十億かかるので、それ以上の費用がかかる」そうです。私は、この答弁に対して、学校の校舎の環境を少しでもきれいにした方が、児童生徒のみなさんが、気持ちよく、快適に学校生活が送れるのかな、と思うので、ぜひ改築してほしいです。

子ども議会で、自分が質問したいことをうかがうことができたし、金武町民のために、今どんなことが必要かも考えることができましたと思うので、とてもいい経験になりました。

## 子ども議会に参加して

金武小学校 六年 久高 輝琉

ぼくは、学校代表として子ども議会に参加しました。最初は、リハーサルでも緊張して本番には、なんか分からないけど、プレッシャーが感じとって緊張しました。

答弁内容については、金武町の米軍基地を削ってほしいという答弁をしました。ぼくは、もし軍を削ったら、都会にして、大きな体育館がほしいです。他の意見について、知ったことは、金武小のかべは、當山久三を中心にみんなで手作りした壁としてこのこしたほうがいいと思いました。

ぼくは子ども議会に参加して、とっても楽しかったです。理由は、おかしいっばい食えたり、いろんなことが聞けて良かったです。



## 子ども議会の感想

金武小学校 六年 伊芸 麻衣

こんにちは。私は、子ども議会でも中川にあるホテルの中の設備について質問しました。

そもそも私は議会というものがあまり分からなくてこの機会に少し知れた気がしました。

自分の知りたいことだけでなく、他の人が質問した、水問題や学力など色々知れました。

また、中学生の方々は、質問内容が少し上かなと思いました。

議長の吉田さんは、声をはっきりしていたので、私も見習って、中学三年生になってもこの議会に出て、できれば議長になりたいです。

今の小学三年生のお手本になる議員になりたいです。



## 子ども議会に参加して

金武小学校 六年 仲間 蓮

ぼくは、自分が思っている金武町の疑問や課題について質問しました。

一般質問で金武町の国道じゅう滞の解消しようについて質問しました。金武町の国道を管理している人の応答を聞くと、車線を増やしたり、じゅう滞解消しように向けての道に対しての工夫等さまざまな考えをもち、じゅう滞解消しように向けて一生懸命取り組んでいると話していました。

他の議員の質問を聞いて金武町には、たくさん課題があると分かりました。

金武町子ども議会に参加して、とても貴重な経験もできたし、たくさんの人達の前で表現するという表現力もつきました。子ども議会に参加できてとてもよかったです。





## 子ども議会に参加して

嘉芸小学校 六年 伊芸 優吾

今回、初めて子ども議会に参加して、学んだことがあります。会場の緊張感についても、リハーサルをしていても、本番は、とても緊張しました。前には、たくさん偉そうな人たちが席に座っていました。後ろには保護者の方々や、ほかの学校の先生たちがたくさんいました。一般質問が始まると、ドキドキしながら自分の番が回ってきました。そして、議長から質問権をもらった後に「金武町のビーチのゴミについて質問します」と言って質問しました。質問が終わると、自分の席に戻りホッとしてしました。

そして、子ども議会を終えた後、たくさんおかしをもらいました。このようなきかいは、もう

二度とないと思います。だからこの経験を、これからの学習や、学校生活などで役立てたいです。この子ども議会を開いてくれた教育委員会の方々にはとても感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



## 子ども議会に参加して

嘉芸小学校 六年 東 楓彩

今回、初めて、子ども議会に参加して感じたことがあります。会場の緊張感です。子ども議会の本番前のリハーサルでも、とても緊張したのに、子ども議会の本番は、どうなるのかと、不安になりました。でも、まわりの違う小学生のみんなも、緊張しているんだと分かる

と返されて、私も、そうなんだと、初めてわかることも、たくさんありました。こうして、この初めての体験を生かして、学校生活や、これからのことに、活かしていけたらいいと感じました。

「あんまり、緊張しなくていいよ」など、やさしい言葉で緊張もなくなり、子ども議会本番、うまく自分の質問をできました。あと、私達の質問に対しての返答です。課長さんたちが自分のもっている情報で、私達の質問に、答え、そのあとの再質問に対しての返答も、ちゃん



## 子ども議会に参加して

嘉芸小学校 六年 伊藝 結麻

私はこれまで、議会についてあまり関心を持っていませんでした。だから子ども議会を通して知ってみたいと思っていたし、実際に参加して学んだことがたくさんありました。

一つめに、議会のすすめ方についてです。質問のしかたやその時間、議会の流れを、リハーサルで詳しく知ることができました。今までやったことのない会のすすめ方だったにで、おもしろいと思いました。

二つめは答弁をしてくださる方々についてです。私ははじめ、再質問をするつもりはありませんでした。ですがリハーサルを通してやってみようと思ひ、本番で再質問をすると、ていねいに答えてくだ

さいました。私は、再質問をしてよかったと思うのと同時に、各課長さんは、正確に答えられていてすごいなと感じました。子ども議会を通して、政界のことに興味を持つことができた。この貴重な場で学んだことや感じたことを、これから役立てていきたいと思ひます。



## 子ども議会に参加して

嘉芸小学校 六年 安木 心南

私が子ども議会を経験してみて、一番印象的だったのは、発言するとき手をあげて、「議長」と言うことです。リハーサルのときにそのことを教えられた初めてのことで「議長」ということにとても緊張しました。そのうえ私は、人前に出て話をすることがとても苦手でした。子ども議会のときも、自分の番までお腹が痛くなるほど緊張しました。けれども、自分の番になると、不思議とスラスラと言葉が出てきて、自分でもびっくりしました。

これからいろいろなことにチャレンジしていきたいです。最後に、このような機械をくださった方々に感謝します。本当にありがとうございました。

今まで私は、議会のことや自分が住んでいる金武町のことについてあまり深く考えたことがなかったけど、この機会を通していろいろ考えたり、気になることも増え、すごくいい経験になりました。この経験を活かし、



## 子ども議会に参加して

金武中学校 三年 吉田 生陽

令和三年子ども議会に参加し、山田瑠依議員他、十五名の子も議員の質問を聞いている中で、金武町におかれていた課題や、今後の取り組みについて知ることが出来ました。また、金武町をはじめ、役場職員の皆さんが金武町のために、一生懸命頑張ってくれていると改めて感じました。

私は今回、議長を拝命するにあたり、議長は周囲の様子や流れ、スムーズな議事進行など臨機応変に対応しなければいけません。子ども議会が始まるまではとても緊張していましたが、最後までしっかり議長の仕事を果たすことができ、ホッとしています。本会議をスムーズに進めることができたのは、関係者の皆様のサポートや、子ども議員の皆さんのおかげです。

子ども議会に参加して、金武町について更に深く考えようと思えました。私たちが住んでいる金武町のことを自分たちの力で変えることが出来る経験はとても貴重なものだと思います。この経験をこれからの学校生活や将来に繋げていきたいです。

## 子ども議会に参加して

金武中学校 三年 仲間 孝介

私は、子ども議会に参加して、金武町の良いところ、改善すべき所など金武町について深く知ることができました。

子ども議会に参加していた議員一人ひとりの、質問や意見を聞くと、自分が住んでいる地域ですが、わからないことや初めて知ったことがあり、新しい発見をすることができました。また、私は、コロナ関係についての質問をすることができました。私の質問に課長の方は、自分が納得する答えを返してもらい、金武町をもっと良くしていくという責任感を感じることができました。

今回の子ども議会を通して、私は、金武町について考え、金武町の良い点、課題点をする事ができました。課題点をどう直すかを日々考え、それをどう実行していくかを考えている各課長の方々は本当にすごいと思えました。また、改めて仕事の大変さについて学ぶことが出来ました。本当にいい経験をすることが出来たと思います。

## 子ども議会に参加して

金武中学校 三年 比嘉 謙仁

私は、金武町子ども議会に参加して、とてもいい経験ができました。

金武町の小中学生の代表16名が子ども議会に参加し、金武町の改善点などを各課の課長さんに質問し、小中学生が金武町をよりよくしていきたいという気持ちが伝わってきました。私は、金武町はポイ捨てが多いので、ゴミ箱を設置したらどうかという質問をしました。課長さんの考えを聞いて、納得のいく答えだったので、嬉しかったです。また16人から聞かれる質問に対して、すべて丁寧に答えていて、とても良かったです。

今回の議会を通して、私は金武町の事について、もっと深く考えようと思えました。議員として議会に出席できたことは、とても良い経験になりました。この経験を将来に生かしたら良いと思います。このような場を設けて頂きありがとうございます。

## 子ども議会に参加して

金武中学校 三年 田場 結音

私は、子ども議会に議員として参加してみて、普段使っている施設や金武町の事をもっと知ることが出来ました。

子ども議会は町内の小中学校から選ばれた人たちが金武町の改善した方がいい所を考え、そのことにくわしい各課長の方々と話すことができる場です。子ども議員一人ひとりが金武町のことを真剣に考えているような質問で自分にはない視点からの質問もあり、金武町の事をよく知ることができた貴重な体験でした。

私は子どもの貧困について質問しました。上手く質問できるか不安でしたが、落ち着いて話すことができました。この子ども議会を通して、自分の意見を伝える力、相手の意見を聞いて理解する力の重要性を知ることが出来ました。

子ども議会に参加してみて、前より金武町の事を深く考えるようになり、大切にしようと思えました。



## 子ども議会に参加して

金武中学校 三年 屋宜 史衣菜

私は、二年生の時に続けて今回も子ども議会に参加しました。参加してみて、質問に対して冷静に対応してくれる姿を見て尊敬を抱きました。自分もこのような大人になりたい。そんな風に思いました。

この経験が今後につながっていくといいなと思います。この先、金武町がどのように成長していくのか楽しみです。今の自分出来ることを探し行動していきます。今回は貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。



## 子ども議会に参加して

金武中学校 三年 仲間 球児朗

子ども議会に初めて参加して、金武町の知らなかった様々な事を学ぶことができました。自分で金武町の疑問や改善点などを考えて初めて知ったことや分からなかったことを知ることができました。

実際に私も議会に参加してみても、金武町の議員の方々が話し合いをしているのを体験し、日頃から金武町のことを考えて下さっているのだなと思ひ、改めて議員の方の大変さや議会で話し合うことの大切さを実感しました。

僕自身は、金武のファンをどのように増やすのか、また、どのように金武町の良さを発信しているのかを質問しました。そして僕は観光大使や施設インターネットなどいろいろな方法で金武町の良さが発信されていることが分かりました。

今回の子ども議会に参加して金武町のことをさらに深く考えようと思ひました。貴重な経験ができました。この経験を将来に生かしていきたいです。



# 金武町子ども議会 令和3年度



発行:金武町教育委員会

住所:〒904-1293 沖縄県国頭郡金武町字金武7758

fumikazu\_431@town.kin.lg.jp

TEL: 968-2991

FAX: 968-4963

